

長野原町へき地診療所での 活動報告

長野原町へき地診療所
所長 金子 稔

長野原町の概要

東西 12km
南北 18km
総面積133.85平方km



80%は山林原野

人口 5600人

長野原町へき地診療所



わが町のゆるキャラ

にゃがのはら

猫をモチーフとして、
帽子は浅間山
高原野菜と日本酒を
ふんどしは湯かけ祭りをイメージ



ゆるキャラグランプリ(2018年)
118位

長野原町へき地診療所



長野原町のイベント(一部)

夏は浅間高原夏祭り



冬は湯かけ祭り
(川原湯温泉)



金子稔のイベント(一部)

夏はソフトボール 野球



冬は雪合戦

長野原町へき地診療所



長野原町へき地診療所



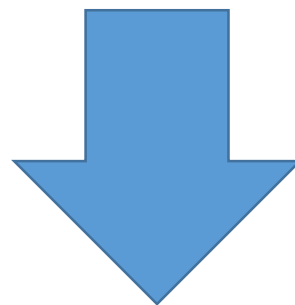
庭が花でいっぱいになりました。
草刈りや草むしりなどは、近隣住民
の皆さんと一緒に汗をかきながら
行いました。

長野原町へき地診療所



土曜日午前診療始めました。

平成28年：15人/日



平成29年22人/日

長野原町へき地診療所
平成28年4月～
**第2・4土曜日
午前診療開始！！**

受付時間 8時30分～11時30分
診療時間 9時～12時
※土曜が祝日の場合も行います。

診療科
内科・外科・小児科
エコー、心電図、X線
検査が可能です。

定期往診に加え緊急
往診も適宜行います。
在宅医療の充実を目指します。

【診療時間】	月	火	水	木	金	土	日
午前 9時～12時	○	×	○	○	○	第2・4	×
午後 13時～17時	○	×	○	○	○	×	×

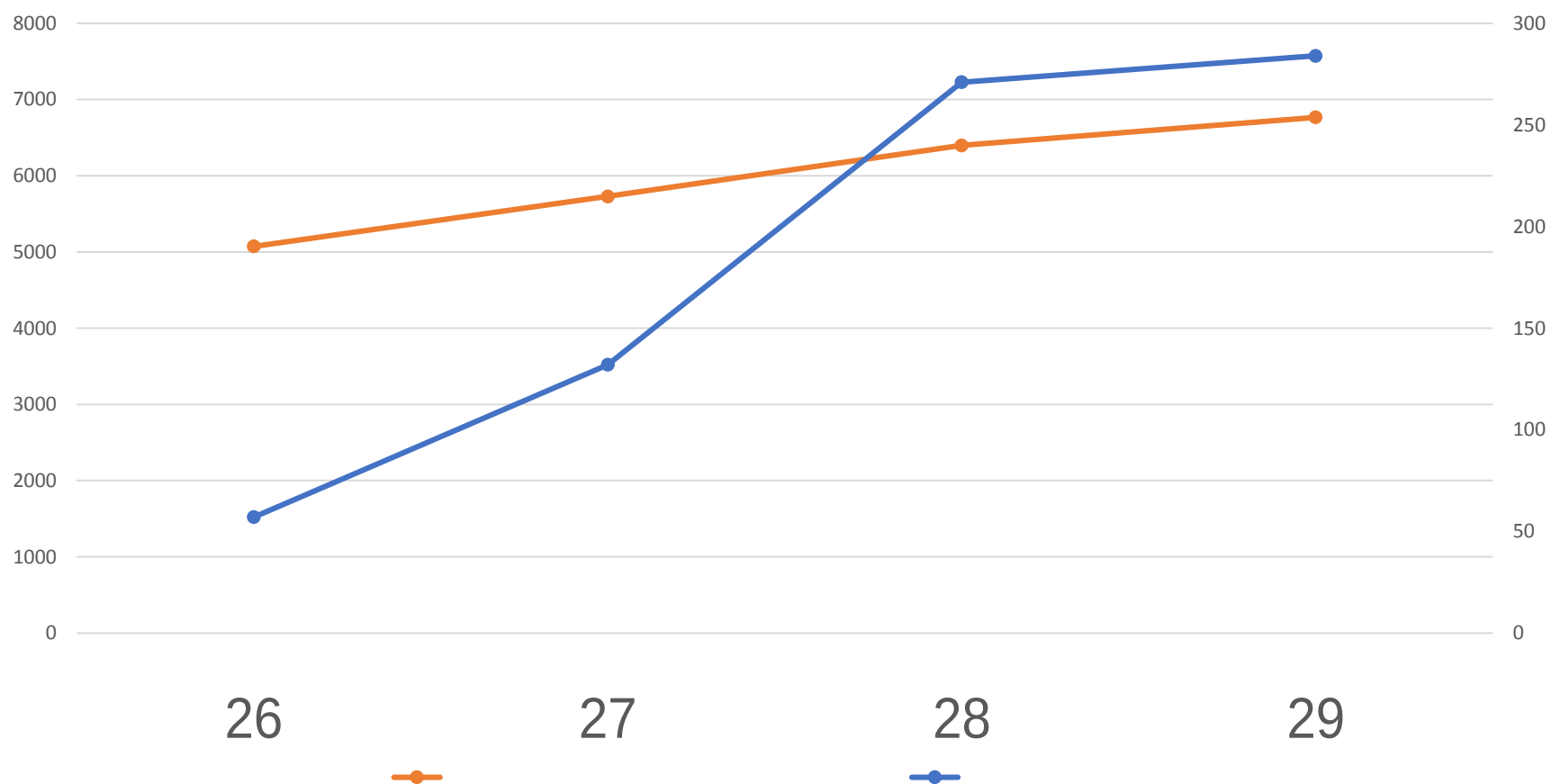
長野原町応接 1449-2
0279-85-2259
0279-85-2269
山ご集いの里には必ず保険証をお持ちください。

長野原町
ながのはらまち
ながの原町 ながの原町 ながの原町

長野原町へき地診療所



診療所利用患者数 H29延べ患者数: 6765人



H29訪問診療・往診: 284人

長野原町へき地診療所



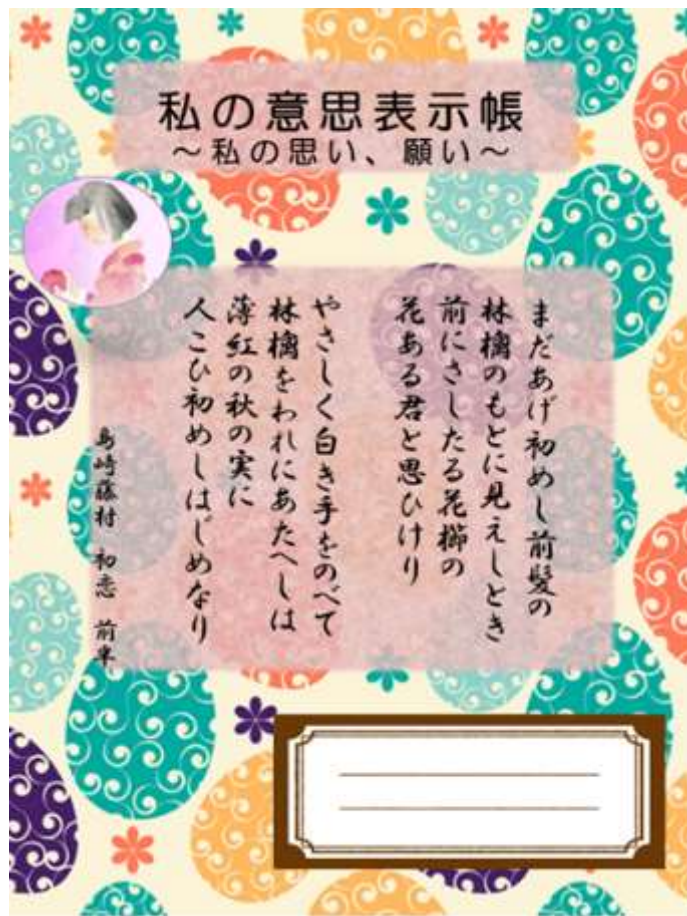
在宅看取り

赴任して3年半で12件の看取り

24時間365日の対応が出来るように
訪問看護ステーションとも連携を
取りながら行っています。



私の意思表示帳(第4版)



生きがいや受けたい医療や
介護の希望を書き込める
小冊子です。
編集委員に加わりました。



老人クラブ研修会

- Advance Care Planning

人生の最終段階の医療・療養について考える研修会。

参加者は50名程度。



ぐんま一番

(群馬テレビ 2018年8月10日放送)

※You Tubeにも動画がupされています。



支えあい、
あたたかな町
長野原町に出演

「医療の谷間に灯をともし」と
自治医大マインドをアピール

長野原町へき地診療所





きたかる(2018年9月号)
に掲載されました。



中学生や高校生に医療の現場を知ってもらう活動



長野原町東中学校での
職業人からの講話

県立前橋高校での
1年生に対する講演



長野原町へき地診療所





地域医療って面白い！！！！

群馬大学の学生も見学に来てくれました。

一人でも興味を持ってくれたら良いな～



長野原町へき地診療所



自治医科大学同窓会報リレーエッセイに執筆 (自治医科大学ホームページより引用)

入試案内・

○ 医学部入試案内

- ▶ 受験生の皆さんへ
- ▶ キャンパスライフ
- ▶ 学生募集要項
- ▶ 大学説明会
- ▶ オープンキャンパス
- ▶ 卒業生インタビュー
- ▼ 卒業生等からのメッセージ
 - ▶ 佐々尾航 (北海道)
 - ▶ 今明秀 (青森県)
 - ▶ 阿部素 (福島県)
 - ▶ 吉新遼康 (栃木県)
 - ▶ 深谷幸祐 (栃木県)
 - ▶ 荒木祐樹 (群馬県)
 - ▶ 金子稔 (群馬県)
 - ▶ 北村邦夫 (群馬県)
 - ▶ 岩瀬翔 (東京都)
 - ▶ 尾身茂 (東京都)
 - ▶ 清嶋浩一 (富山県)
 - ▶ 市川万邦 (山梨県)
 - ▶ 黒川大祐 (岐阜県)
 - ▶ 石黒源之 (岐阜県)
 - ▶ 奥野正孝 (三重県)
 - ▶ 倉田佳彦 (滋賀県)
 - ▶ 阿江竜介(7) (兵庫県)
 - ▶ 阿江竜介(6) (兵庫県)
 - ▶ 阿江竜介(5) (兵庫県)

Ⅰ 同窓会会報から 金子稔(群馬県)

リレーエッセイ(北から南から)～熱い!!!へき地医療～

長野原町へき地診療所 金子稔 (群馬34期)

「鶴舞う形の群馬県」からお届けするリレーエッセイです。今回は、群馬県の北西部(鶴の尾っぽ)に位置する長野原町へき地診療所に勤務する金子がお送りします。

さて、自治医大を卒業後、群馬大学医学部付属病院に勤務し、平成27年度から現在の診療所勤務になりました。今年度で3年目を迎えています。へき地での医療の奥深さを日々実感しながら診療していますが、その中でも在宅医療・在宅看取りについては今までの診療所の実績以上に住民の皆さんの要望に答えているところです。

在宅医療については、地域包括システムの運用も含めて、徐々にではありますが周辺住民の皆さんからの要望が高まってきています。また、近隣に西吾妻福祉病院があり、通院が困難になった患者さんを在宅医療で引き続き診療継続するという活動も行っております。また、診療所に通院中の患者さんが入院した場合などは病室に見舞いに行ったり、退院時カンファレンスに出席し今後の方針や、家族の考えなどを病院側・在宅側で共有しながらどのような医療を望んでいるのかをみんなで話し合ったりする機会にしています。西吾妻福祉病院には私も週1回程度の当直業務をしています。病院での当直業務を行うことで診療所とは違う患者層にも対応する機会が多いため勉強にもなっています。

また、地元医師会の先生から「Advance Care Planning」についての研修会実施のお願いも、今年度に入ってから長野原町の老人クラブの皆さんを対象に「生きがい～私の意思表示帳の使い方～」という演題で研修会も開催しました。参加者の皆さんはとても熱心に聞いておられて「終活」について考える方が多い印象でした。今後は、長野原町だけではなく、吾妻地域での活動も充実させていけたらと考えています。この活動に加わった経緯については、当診療所では私が赴任して2年間で7件の在宅看取りを行いました(長野原町は年70人前後の死亡数があります)今までは町外から通勤していた診療所でしたが、私は長野原町に住民票を移し、町内で生活しているため24時間の対応が可能です。それに伴い、自宅で最期を迎えたいという要望が患者さん本人・介護者の家族から徐々に増えてきています。その要望に応じて在宅看取りを行ってきました。ほとんどが70歳を超えた高齢者の方ですが、中には終末期の方も数名いました。雪の降りしきる深夜の往診やたまたま遠方にいたときの看取りなども経験



長野原町へき地診療所

